



# 先生のスキルアップへ

愛建協主催 専門工事の技能を経験

建設系高校の先生を対象とする専門工事のスキルアップ研修会が17日、愛知県立半田工業高校で開かれた。愛知県内の9校から18人の先生が参加し、左官と鉄筋、型枠、足場の作業の実習を受けた。

愛知県建設業協会が主催。建設産業専門団体中部地区連合会の所属団体や会員企業などが協力し、普段現場で働いている建設技能者らが指導に当たった。

初めて同研修会に参加した半田工業高校教諭の柴田智広さんは「授業のほか、生徒の進路指導にも生かしていきたい」と、実際の技能を経験する意義を話していた。

また、型枠工事の実習に協力した並松工業社長の並松正勝さんは「学校を通じ、それぞれの専門工事業の社会での認知度アップにつながれば」と期待感を示した。